

西九州だより 2022

Nishikyushu University Public relations magazine



長い間お世話になりました。

退職された先生からのごあいさつ

西九州大学を去るに当たって

理学療法学専攻 溝田 勝彦

2022年3月31日をもって、西九州大学での楽しい15年を終えることになりました。臨床の理学療法士として3病院（泰平病院、雁の巣病院、三野原病院）、教員としての3校（医療福祉専門学校 緑生館、畿央大学、西九州大学）を通して、西九州大学が最も長く勤務した勤務先になります。これもひとえに在任中にお世話になった教員の皆様、学生・大学院生諸君、そして同窓会の皆様のおかげと心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。皆様との出会いがとても気持ちよかったのでしょうか。気が付いてみるとあっという間に15年の歳月が経過していました。「学生あつての教員、教員あつての学生」、両者がいて成り立つ関係です。改めて出会いに感謝いたします。

西九州大学を後にするにあたり、同窓会の皆様に一言ご挨拶申し上げます。私は西九州大学で還暦を迎え、名誉教授の称号を拝命し、さらに古希を迎えましたが、その節目ごとに、同窓会の皆様から温かい祝福を賜り、



帰宅後いつも家内と感激に涙したものでした。この度の退職に際しても心のこもった饗別を頂き、改めて卒業生の皆様の心遣いに感動しています。そのお返しと言っては変ですが、私がこれまでの人生で感じたことを述べさせていただきます。

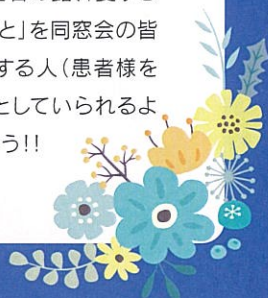
皆さまは現在、仕事に（そして人によっては家庭に）大変多忙な毎日を送っていると思います。その中で、仕事を含めていろんな頼まれごとがあると思います（例えば、〇〇教室の講師依頼、原稿依頼など）。その時、「どう考えても無理」というとき以外は是非引き受けてください。「どうしようかな」と迷うときは対応できる可能性があるということです。頼まれるということは、あなたならきっとやってくれると期待されているからです。その準備を通して新たな力を身につけることができます。今は自分にとって具体的なメリットはないように見えても、蓄えとなって後々自分を助けてくれることがあるのです。逆に断ってしまうと、「あのの人に頼んでも断られるだろう」と、二度と依頼してくれなくなります。力をつけるチャンスを逃すことになります。「あの



時引き受けておけば、今頃は・・・」と後悔しなくて済むように。チャンスに出くわしてからでは間に合いません、それには常日頃からの準備が大切です。

私事ですが、私には二人の子どもがいますが、小さい時いろいろ尋ねてくる時期がありました。それに対し、私はその場ですぐに答えられるように、「日本語大辞典」、「熟語辞典」などを居間の手の届くところに置いていました。質問されたときその場で調べて答えると、子どもは疑問があるといつも尋ね、やがては自然と自分で調べるようになっていきました。その時、「今忙しいから後で」と対応していたら、きっと疑問をもってもほったらかしにしていたのではないかと思います。後で取り組もう、後で調べようと先延ばしにせず、すぐに取っかかりましょう。

最後に私の目標である座右の銘、「愛するとは愛するものを生かすこと」を同窓会の皆様に送ります。あなたが愛する人（患者様を含めて）がいつも生き生きとしていられるように！お互いに頑張りましょう！！



長い間お世話になりました。退職された先生からの ごあいさつ



西九州大学 リハビリテーション学部 同窓会の皆様へ

理学療法学専攻 田中 真一

平成23年に入職して11年間お世話になりました。正直、思い出を語れるほどのエピソードはなく、この11年間は淡々と仕事をこなしてきたに過ぎません。これには私自身の働き方があって、第三者から「あの人は仕事が忙しそう!」とみられないように行動することを常に意識しています。バタバタすると周りが見えなくなり、臨床では患者様のリスク管理に影響がでます。教育研究機関では準備不足や事務的なミスにつながります。

今、皆さんはいろんな場面でご活躍されていると思いますが、忙しすぎて次の患者様のところ(ベッドや病棟など)まで走っていきそうな時

は、立ち止まって深呼吸してスタッフルームでお茶を一杯飲んでみてください。不思議と余裕が生まれます。そして患者様も落ち着きます。忙しくしている理学療法士や作業療法士をみると患者様も気を遣いますから。

最後になりますが、西九州大学では多くの学生さんや教職員との出会いがあり、励みになりました。今後は西九州大学で得たものを糧とし、教育研究に励みます。関わって頂いた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



西九州大学 リハビリテーション学部 同窓会の皆様へごあいさつ

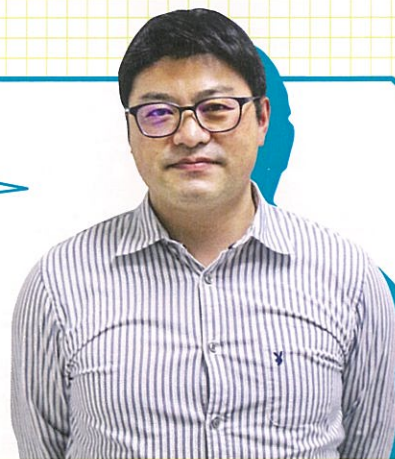
理学療法学専攻 古後 晴基

このたび退職しました理学療法学専攻の古後と申します。平成24年に採用され勤務10年間でした。私は、患者様と信頼関係を築ける理学療法士を育成することを目標に教育して参りました。患者様との信頼関係を築ける理学療法士になるには、三つの柱があると考えています。それは、一、高度な医学的知識、二、治療計画の優れた思考、そして三は、思いやりのある人間性だと思っております。『病を診て患者を診ず』という言葉があります。患者という字が、心に串が刺さった者と書くことから理解できることで、信頼関係を築くためには三が一番

大切であると考えています。卒業生、在学生の皆さん、大変お世話になりました。今後どこかで私を見かけたら気を遣わず声を掛けて下さいね。



本年度より、fresh man教員として、西九州大学リハビリテーション学部に着任させて頂きました。私は中国からの留学生として日本で理学療法士のライセンスを取得した後、北海道と関西を中心に理学療法の教員を18年間勤めました。九州では知り合いが少なく、皆様からご友情を賜りながら、素晴らしい卒業者を増やす学習環境の不易流行を共に皆さんと努めて参りたい所存です。今後とも、ご支援とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。



リハビリテーション学部(学科)
理学療法学専攻 **宮本 明**

よろしくお願いします！ 新任の先生よりごあいさつ



リハビリテーション学部(学科)
理学療法学専攻 **中村 雅俊**

2022年4月より西九州大学に赴任してきました中村雅俊と申します。
私の研究テーマは、ストレッチングやレジスタンストレーニングという運動療法に関する研究です。

運動療法は理学療法の中でも多くの先生方が行う治療法の一つではありますが、その効果や治療方法については日進月歩、新しい知見がどんどん出ております。

日々、臨床の中で治療として提供できている運動療法をより効果的・効率的にできるものはないのか？という観点で研究を進めております。

まだまだラボ内の研究に終始しておりますが、今後は幅を広げていきたいと思っておりますので、ぜひ、先生方のお力添えを頂ければ幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



卒後研修会

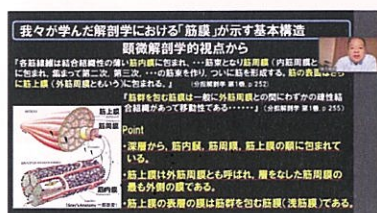
西九州大学リハビリテーション学部同窓会では、年に1度同窓会が企画・運営し、卒後研修会を開催しています。

2021年度は大分大学の河上敬介先生と、九州栄養福祉大学の淵雅子先生をお招きし、研修会を開催しました。同窓会初のオンライン開催でしたが、たくさんの方にご参加いただきました。

河上敬介先生の解剖学では、途中にVRを使用した説明もあり、参加者の方からも「印象的であり、内容に興味をもちました」とたいへん好評でした。

淵先生の講義では、実際の患者様の評価や治療をご紹介いただき、参加者の方からも「しっかり学ぶことが出来て良かった」「普段の臨床での活動を見直す良い機会になった」との感想が寄せられていました。

ご参加いただいた皆さまに、この場を借りてお礼申し上げます。



大学の取り組み

溝上薬局様と協同で高齢者の介護予防・健康増進に取り組んでいます

西九州大学リハビリテーション学部と溝上薬局は、高齢者の介護予防・健康増進を目指して運動教室や体力測定会を行っています。この活動は2018年から始まり、今年で5年目になりました。半年に1度のペースで体力測定会を実施しており、毎回約80名の高齢者が参加しています。参加している高齢者は、自分の体力を確認できる機会を楽しみにしているようです。

今年度は体力測定会を9月13日(火)・14日(水)に行いました。コロナウイルスの影響で参加者が少なくなることを予想しておりましたが、74名の方に参加していただきました。

今回は、リハビリテーション学科の教員、在学生だけでなく、理学療法士・作業療法士として活躍している卒業生にも協力してもらいました。在学生は、卒業生との交流が刺激になったようで、「とても良い経験になりました」と話していました。卒業生で測定会に興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけください。一緒に活動できることを楽しみにしております。



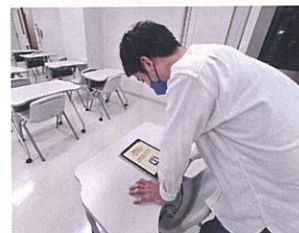
公開講座

西九州大学グループ健康福祉・生涯学習センター主催の公開講座が毎年開催されています。

今年度はリハビリテーション学科の卒業生や専門職を対象に実施されました。

「久しぶりに大学の先生の講義が聴けて懐かしかった」との感想も寄せられました。

来年度も卒業生向けに公開講座を開講される予定とのことです。興味のある方は、ぜひご参加ください。



ひとやすみ ～ 同窓会役員のつぶやき ～ 3期生OT 伊藤 恵美

本同窓会では、2021年度から広報誌の作成を行っており、今回で2回目の発行となります。今回より「ひとやすみ」と題し、同窓会役員のつぶやきを掲載したいと思います。コーヒーでも飲みながらゆっくりお付き合いください。

リハビリテーション学部は開学から16年目を迎えました。私が入学したのは十数年前、時が経つのは早いものです。

さて、同窓生みなさんは「あすなろ精神」という言葉を覚えていますか？若い世代の会員の方は「あすなろ」なる授業があり、一般教養や西九州大学の歴史などを学んだのではないのでしょうか。

「あすなろ(あすなろ)」は長い年月をかけ、ヒノキに似た木になることから

「明日はヒノキのような大木になろう」という意味を持っています。

でも「あすなろ」は「あすなろ」。どんなに頑張っても残念ながら「ヒノキ」にはなりません…。私たち人間も「あの人はとっても素敵なのに、私は…だから」とつい人と比べてしまいがちです。しかし「あすなろ」には「あすなろ」のよさがあり、「あの人にはあの人のよさ、私には私のよさがあります。」「自分自身を認める」こと。簡単なようで難しいけれど、目標に向けての第一歩、なりたい自分になる第一歩はそれかもしれないと思う今日この頃です。

ちなみに、あすなろの花言葉は「永遠の憧れ」「不滅・不死」「変わらない友情」だそうです。同窓生の変わらない友情を願って、私の少々長いつぶやきを終わります。